



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社TMH
代表者名 代表取締役社長 榎並 大輔
(コード: 280A 東証グロース 福証Q-Board)
問合せ先 取締役経営管理部長 関 真希
(TEL. 097-576-7666)

中間期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2026年1月14日に公表いたしました2026年11月期（2025年12月1日～2026年11月30日）の連結業績予想につきまして、最新の業績動向等を踏まえ、これまで公表しておりませんでした2026年11月期中間期（2025年12月1日～2026年5月31日）の連結業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。なお、通期の連結業績予想につきましては、当初予想からの変更はありません。

記

1. 2026年11月期 中間期連結業績予想数値（2025年12月1日～2026年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	2,369	11	9	5	1.37
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 2026年11月期 下期連結業績予想	3,742	356	359	245	66.39
(ご参考) 2026年11月期 通期連結業績予想	6,112	367	369	250	67.76

2. 公表の理由

当社の当期連結業績は、以下の要因を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも下期偏重の見通しであることから、中間期連結業績予想の公表が投資家の皆様の投資判断に有益と判断し、公表いたしました。売上高については、中古装置案件の多くの入札が当第2四半期以降に予定されており、国内および韓国において、新規入札先の拡大や大型案件への複数入札参加を通じた受注の積み上げを下期に見込んでおります。なお、売上高の下期偏重に伴い、各利益も下期に偏重する見込みです。

※上記予想は、本資料公表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上